



2020年

鎌ヶ谷市小中学校エピペン講習会

鎌ヶ谷市医師会 引田 満

1# 平成24年に発生したアナフィラキシーショックによる調布市立学校児童死亡事故は当時、新聞やテレビで大きく報道され、食物アレルギーの危険性と対策の重要性というものが社会的に広く認知される契機となりました。そして政府の政策としてアレルギー疾患対策基本法が成立し、学校生活下の食物アレルギー対応については学校医の協力のもと、学校（教育委員会）がその義務と責任を負うことになりました。



#2 最も重要なことは誤食を回避することですが、何重ものセーフティネットが張り巡らされてはいるものの、調布の事例のようなヒューマンエラーの連鎖は万が一の事態を招きかねません。そこでアナフィラキシーないしアナフィラキシーショックに対する補助



治療薬として、携帯型のアドレナリン自己注射薬（エピペン）が開発され、厚生労働省や教育委員会の努力もあり、短期間に全国に普及していきました。エピペンは極めて有効な治療（救命）手段ですが、アレルギー症状に対する的確な判断、確実な注射手技が要求されるため、鎌ヶ谷市医師会では教育委員会の依頼により、毎年各学校においてすべての教職員を対象に、エピペン講習会を実施しています。内容は座学、動画視聴、エピペントレーナーを用いた実技となっています。2020年も下記のようなスケジュールで行ないました。

— エピペン講習会2020 —

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 鎌ヶ谷市立南部小学校 | 7月16日（木）15:00～ |
| ② 鎌ヶ谷市立西部小学校 | 8月6日（木）14:30～ |
| ③ 鎌ヶ谷市立道野辺小学校 | 9月17日（木）15:00～ |
| ④ 鎌ヶ谷市立第5中学校 | 12月17日（木）15:00～ |

道野辺小学校



実技講習



第5中学校